

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年11月13日
【四半期会計期間】	第27期第2四半期（自平成21年7月1日至平成21年9月30日）
【会社名】	株式会社ハーバー研究所
【英訳名】	HABA LABORATORIES, INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 小柳 昌之
【本店の所在の場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【電話番号】	03-5219-5660（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役人事・経理部担当ディレクター 鍋島 厚
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
【電話番号】	03-5219-5660（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役人事・経理部担当ディレクター 鍋島 厚
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第26期 第2四半期連結 累計期間	第27期 第2四半期連結 累計期間	第26期 第2四半期連結 会計期間	第27期 第2四半期連結 会計期間	第26期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 4月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 7月1日 至平成20年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成20年 4月1日 至平成21年 3月31日
売上高(千円)	5,101,522	5,168,950	2,621,466	2,636,150	11,182,798
経常利益(千円)	159,510	56,378	145,062	172,741	860,403
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失( )(千円)	41,555	185,916	48,232	62,429	393,361
純資産額(千円)	-	-	4,873,153	4,916,685	5,271,611
総資産額(千円)	-	-	10,333,885	12,387,872	11,425,435
1株当たり純資産額(円)	-	-	1,217.61	1,240.01	1,307.85
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は四半期純損失金額( ) (円)	10.56	47.25	12.26	15.86	99.99
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-	-	-
自己資本比率(%)	-	-	46.4	39.4	45.0
営業活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	371,972	358,352	-	-	975,563
投資活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	213,946	1,205,719	-	-	351,724
財務活動によるキャッシュ・フ ロー(千円)	180,486	1,496,824	-	-	344,695
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	-	-	2,400,960	3,322,494	3,389,100
従業員数(人)	-	-	491	523	509

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

3. 売上高には、消費税等は含まれていません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結会計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

#### 3【関係会社の状況】

当第2四半期連結会計期間において、重要な関係会社の異動はありません。

#### 4【従業員の状況】

##### (1) 連結会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	523 [134]
---------	-----------

(注)従業員数は就業人員(当社グループからグループ外への出向者及びグループ外から当社グループへの出向者はありません。)であり、臨時雇用者数(パート・アルバイト)は、当第2四半期連結会計期間の平均人員を[ ]外数で記載しています。

##### (2) 提出会社の状況

平成21年9月30日現在

従業員数(人)	100 [21]
---------	----------

(注)従業員数は就業人員(当社から社外への出向者及び社外から当社への出向者はありません。)であり、臨時雇用者数(パート・アルバイト)は、当第2四半期会計期間の平均人員を[ ]外数で記載しています。

## 第2【事業の状況】

### 1【生産、受注及び販売の状況】

#### (1)生産実績

当第2四半期連結会計期間における生産実績は、次のとおりです。

品目	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	前年同四半期比(%)
化粧品(千円)	2,609,907	79.3
合計(千円)	2,609,907	79.3

- (注) 1. 金額は、販売価格によっています。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

#### (2)受注状況

当社グループは見込生産を行っているため、該当事項はありません。

#### (3)販売実績

当第2四半期連結会計期間における販売実績は、次のとおりです。

##### 品目別実績

品目	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
化粧品			
基礎化粧品(千円)	1,692,253	64.2	99.1
メイクアップ化粧品(千円)	344,900	13.1	115.2
トイレットリー(千円)	124,418	4.7	96.1
その他(千円)(注)1	5,062	0.2	28.6
小計(千円)	2,166,634	82.2	100.6
栄養補助食品・雑貨等(千円)	429,157	16.3	99.5
化粧品・栄養補助食品等 小計(千円)	2,595,792	98.5	100.4
その他(千円)(注)2	40,358	1.5	109.9
合計(千円)	2,636,150	100.0	100.6

- (注) 1. 期間を限定して提供するキャンペーンセット品等が主なものです。  
2. ハーバーガーデン(ゴルフ練習場、カルチャーセンター等)等の売上が主なものです。  
3. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

##### 販売ルート別実績

販売ルート別	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	構成比(%)	前年同四半期比(%)
販売ルート			
通信販売(千円)	1,849,705	71.3	100.1
百貨店向卸売(千円)	296,344	11.4	87.8
その他卸売(千円)	227,879	8.8	116.4
直営店(千円)	221,862	8.5	109.5
合計(千円)	2,595,792	100.0	100.4

- (注) 1. 上記の合計表には、ハーバーガーデン等の売上は含まれていません。  
2. 上記の金額には、消費税等は含まれていません。

## 2【事業等のリスク】

当第2四半期連結会計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

## 3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

## 4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

### （1）業績の状況

当第2四半期連結会計期間の当社グループの連結売上高は、経済環境が一段と減速、個人消費の落ち込みが強まるなか、百貨店売上の減少が顕著でしたが、香港・中国を中心とした輸出が好調でその他卸売が前年を大幅に上回り、2,636,150千円（前年同期比100.6%）となりました。

売上原価は、工場増設などによる減価償却費の負担が低減した事などにより506,034千円（前年同期比88.0%）と低下しています。

販売費及び一般管理費は、広告販促費活動の効率化に努めましたが1,966,831千円（前年同期比103.6%）と前年をやや上回りました。

これらの結果、営業利益は163,284千円（前年同期比110.2%）、経常利益は172,741千円（前年同期比119.1%）、四半期純利益は62,429千円（前年同期比129.4%）となりました。

### （2）キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、税金等調整前四半期純利益が166,962千円でしたが、有形固定資産の取得のための支出725,692千円などから、当第2四半期連結会計期間末には3,322,494千円となりました。

当第2四半期連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、30,185千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益166,962千円、減価償却費111,149千円等による増加とたな卸資産の増加額128,117千円、未払債務の減少額129,218千円等による減少によるものです。前年同期に比べ303,660千円減少しています。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、748,758千円となりました。これは主に、研究開発用地の購入等による支出725,692千円等です。前年同期に比べ656,923千円の支出増加しています。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は、1,152,376千円（前年同期は94,310千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の純増加額1,230,000千円等によるものです。前年同期に比べ1,246,686千円の増加となりました。

### （3）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結会計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

### （4）研究開発活動

当第2四半期連結会計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、74,950千円です。

なお、当第2四半期連結会計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### （5）経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当社グループの売上高の約9割は化粧品などの売上です。化粧品業界全体では、個人消費の伸び悩みなどからマーケット規模が増えない状況の中、消費者ニーズの多様化、価格の二極化、新規参入企業の増加などにより、企業間の厳しい競争が続いています。

このような経営環境のもと、当社グループが安定的に成長するには、新規顧客を効率的に増やしていくこと及び研究開発に力を入れ多様化した消費者ニーズに対応し顧客満足度の高い、製品・サービスを提供していくことが重要と考えています。

(6) 資本の財源及び資金の流動性についての分析

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は3,322,494千円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、たな卸資産の増加と有形固定資産の取得の増加があったため12,387,872千円となり、第1四半期連結会計期間末と比較して1,158,546千円の増加となりました。また、負債合計は短期借入金の増加等により7,471,187千円となり、第1四半期連結会計期間末と比較して1,088,256千円の増加、純資産は利益剰余金の増加等により4,916,685千円となり、第1四半期連結会計期間末と比較して70,290千円の増加となりました。

(7) 経営者の問題認識と今後の方針について

当社グループが、長期かつ安定的な成長と確かな利益水準を確保していくためには、原点に立ち返り、無添加で安全な製品作りを徹底すると共に、より一層研究開発に力を入れ、他社の真似できない独自の技術による高機能の商品を開発し、多様化する消費者のニーズに的確に応えていく事が大切であると認識しています。

このため、各大学や研究機関との共同研究などに積極的に取り組むほか、研究開発に携わる人材の確保と育成に努め、当社独自の技術による商品開発力を高めていきます。商品面では、化粧品のみならず健康食品や一般食品においても、独創的な商品開発を展開していきますし、原材料の分野でも、当社独自の高機能な新素材などの開発に注力し、技術や開発力に裏づけされた商品展開をしてまいります。

### 第3【設備の状況】

(1) 主要な設備の状況

当第2四半期連結会計期間において、主要な設備に重要な異動はありません。

(2) 設備の新設、除却等の計画

当第2四半期連結会計期間において、前四半期連結会計期間末において計画中であった重要な設備の新設、除却等について、重要な変更はありません。また、新たに確定した重要な設備の新設、拡充、改修、除却、売却等の計画はありません。

## 第4【提出会社の状況】

### 1【株式等の状況】

#### (1)【株式の総数等】

##### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,000,000
計	10,000,000

##### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成21年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成21年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,935,000	3,935,000	ジャスダック証券取引所	単元株式数 100株
計	3,935,000	3,935,000	-	-

#### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

#### (3)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

#### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成21年7月1日～ 平成21年9月30日	-	3,935,000	-	696,450	-	812,570

#### (5)【大株主の状況】

平成21年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
小柳 昌之	東京都千代田区	1,412	35.88
有限会社ナチュラル	北海道苫小牧市植苗196-11	190	4.82
小柳 東子	東京都文京区	186	4.73
小柳 典子	北海道苫小牧市	68	1.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2-7-1	60	1.52
平尾 忠正	京都府京都市西京区	43	1.10
小柳 かず江	東京都千代田区	30	0.76
知野 秀雄	東京都中央区	24	0.63
小柳 佳之	東京都豊島区	20	0.50
仁村 則明	埼玉県東松山市	20	0.50
計	-	2,054	52.21



(6) 【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成21年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,933,700	39,337	-
単元未満株式	普通株式 300	-	-
発行済株式総数	3,935,000	-	-
総株主の議決権	-	39,337	-

【自己株式等】

平成21年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ハーバー研究所	東京都千代田区有楽町1-12-1	1,000	-	1,000	0.03
計	-	1,000	-	1,000	0.03

2 【株価の推移】

【当該四半期累計期間における月別最高・最低株価】

月別	平成21年4月	5月	6月	7月	8月	9月
最高(円)	2,300	2,300	2,380	2,415	2,445	2,455
最低(円)	2,230	2,230	2,295	2,360	2,380	2,290

(注) 最高・最低株価は、ジャスダック証券取引所におけるものです。

3 【役員の詳細】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期報告書提出日までの役員の異動は、次のとおりです。

(1) 役職の異動

新役名	新職名	旧役名	旧職名	氏名	異動年月日
取締役	基礎研究室、化粧品・雑貨開発部、業務部担当ディレクター	取締役	基礎研究室・化粧品開発部担当ディレクター	古俣 徳康	平成21年7月28日
取締役	美相教育部担当ディレクター	取締役	美容部ディレクター	廣森 知恵子	平成21年7月28日

## 第5【経理の状況】

### 1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。）に基づいて作成しています。

なお、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）は、改正前の四半期連結財務諸表規則に基づき、当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）は、改正後の四半期連結財務諸表規則に基づいて作成しています。

### 2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、前第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び前第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表並びに当第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び当第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、監査法人A&Aパートナーズによる四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,405,488	3,459,450
受取手形及び売掛金	879,062	1,056,168
商品及び製品	856,059	791,924
仕掛品	101,729	43,506
原材料及び貯蔵品	571,263	513,077
繰延税金資産	228,280	175,604
その他	167,939	135,149
貸倒引当金	29,340	22,617
流動資産合計	6,180,482	6,152,264
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,296,431	3,157,987
減価償却累計額	1,135,615	1,072,985
建物及び構築物(純額)	2,160,815	2,085,002
機械装置及び運搬具	944,352	924,687
減価償却累計額	655,175	608,292
機械装置及び運搬具(純額)	289,176	316,395
工具、器具及び備品	592,540	583,641
減価償却累計額	444,219	433,771
工具、器具及び備品(純額)	148,321	149,870
土地	2,496,497	1,877,725
建設仮勘定	4,349	47,307
有形固定資産合計	5,099,160	4,476,300
無形固定資産		
のれん	321,676	48,511
その他	95,925	111,644
無形固定資産合計	417,601	160,155
投資その他の資産		
繰延税金資産	163,755	157,630
その他	541,922	494,134
貸倒引当金	15,050	15,050
投資その他の資産合計	690,627	636,715
固定資産合計	6,207,389	5,273,171
資産合計	12,387,872	11,425,435

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	406,317	284,874
短期借入金	3,593,354	2,263,354
1年内返済予定の長期借入金	578,732	515,384
未払金	498,941	546,308
未払法人税等	119,643	350,387
賞与引当金	90,037	83,154
ポイント引当金	98,974	133,871
その他	114,534	149,735
流動負債合計	5,500,534	4,327,070
固定負債		
長期借入金	1,756,463	1,573,651
退職給付引当金	73,854	69,706
役員退職慰労引当金	116,625	158,529
その他	23,710	24,866
固定負債合計	1,970,652	1,826,753
負債合計	7,471,187	6,153,823
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	696,450	696,450
資本剰余金	812,570	812,570
利益剰余金	3,362,106	3,626,703
自己株式	400	400
株主資本合計	4,870,726	5,135,323
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,214	2,055
為替換算調整勘定	9,692	11,819
評価・換算差額等合計	7,477	9,764
少数株主持分	38,481	126,524
純資産合計	4,916,685	5,271,611
負債純資産合計	12,387,872	11,425,435

( 2 ) 【四半期連結損益計算書】  
【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位：千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4月 1日 至 平成20年 9月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4月 1日 至 平成21年 9月30日)
売上高	5,101,522	5,168,950
売上原価	1,118,148	1,047,589
売上総利益	3,983,374	4,121,361
販売費及び一般管理費	3,807,402	4,069,613
営業利益	175,971	51,748
営業外収益		
受取利息	2,061	809
受取配当金	217	198
受取賃貸料	22,361	20,768
保険解約返戻金	-	26,908
その他	6,857	8,140
営業外収益合計	31,498	56,825
営業外費用		
支払利息	33,763	40,359
その他	14,195	11,836
営業外費用合計	47,959	52,195
経常利益	159,510	56,378
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,278	-
固定資産売却益	233	9,713
債務免除益	2,944	-
特別利益合計	4,456	9,713
特別損失		
固定資産除却損	1,343	10,373
たな卸資産廃棄損	5,984	3,737
リース解約損	10,633	6,387
役員退職慰労金	-	180,000
その他	9,128	11,346
特別損失合計	27,089	211,844
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	136,878	145,752
法人税、住民税及び事業税	86,746	132,947
法人税等調整額	564	51,029
法人税等合計	86,181	81,918
少数株主利益又は少数株主損失( )	9,141	41,754
四半期純利益又は四半期純損失( )	41,555	185,916

【第2四半期連結会計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	2,621,466	2,636,150
売上原価	574,962	506,034
売上総利益	2,046,503	2,130,115
販売費及び一般管理費	1,898,332	1,966,831
営業利益	148,171	163,284
営業外収益		
受取利息	1,604	503
受取賃貸料	11,081	10,462
保険解約返戻金	-	24,463
その他	5,135	3,360
営業外収益合計	17,821	38,790
営業外費用		
支払利息	16,581	21,409
その他	4,349	7,923
営業外費用合計	20,930	29,333
経常利益	145,062	172,741
特別利益		
貸倒引当金戻入額	16	-
固定資産売却益	233	9,713
債務免除益	427	-
特別利益合計	676	9,713
特別損失		
固定資産除却損	1,343	5,372
たな卸資産廃棄損	5,984	3,652
リース解約損	10,633	6,387
その他	4,128	78
特別損失合計	22,089	15,491
税金等調整前四半期純利益	123,649	166,962
法人税、住民税及び事業税	65,134	88,527
法人税等調整額	4,833	8,092
法人税等合計	69,967	96,620
少数株主利益	5,449	7,913
四半期純利益	48,232	62,429

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失( )	136,878	145,752
減価償却費	233,800	217,306
引当金の増減額( は減少)	15,254	11,327
受取利息及び受取配当金	2,278	1,007
支払利息	33,763	40,359
固定資産売却損益( は益)	233	9,713
固定資産除却損	1,343	10,373
保険解約損益( は益)	-	26,908
役員退職慰労金	-	180,000
売上債権の増減額( は増加)	300,779	179,346
たな卸資産の増減額( は増加)	331,970	180,142
仕入債務の増減額( は減少)	165,238	121,516
未払債務の増減額( は減少)	105,827	33,462
未払又は未収消費税等の増減額	28,156	43,609
その他	16,577	10,133
小計	458,328	286,843
利息及び配当金の受取額	2,273	978
役員退職慰労金の支払額	-	227,720
利息の支払額	34,099	43,097
法人税等の支払額	89,403	375,356
法人税等の還付額	34,874	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	371,972	358,352
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額( は増加)	7,464	12,600
子会社株式の取得による支出	100	356,909
有形固定資産の取得による支出	211,679	801,398
有形固定資産の売却による収入	-	10,458
無形固定資産の取得による支出	4,937	5,438
長期前払費用の取得による支出	3,915	2,316
差入保証金の差入による支出	207	40,006
差入保証金の回収による収入	880	3,620
その他	1,451	1,128
投資活動によるキャッシュ・フロー	213,946	1,205,719
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	259,785	1,330,000
長期借入れによる収入	-	645,000
長期借入金の返済による支出	360,083	398,840
割賦債務の返済による支出	2,120	1,262
配当金の支払額	78,067	78,073
財務活動によるキャッシュ・フロー	180,486	1,496,824
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,261	641
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	21,198	66,605
現金及び現金同等物の期首残高	2,422,158	3,389,100
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,400,960	3,322,494

【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
連結の範囲に関する事項の変更	(1)連結の範囲の変更 第1四半期会計期間より、株式会社九州ハーバーを新たに設立したため、連結の範囲に含めています。なお、株式会社九州ハーバーは、平成21年5月1日に株式会社銀座ハーバーから新設分割しています。 (2)変更後の連結子会社の数 13社

【表示方法の変更】

	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
(四半期連結貸借対照表)	
1. 「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成20年8月7日内閣府令第50号)の適用に伴い、前第2四半期連結会計期間において、「商品」「製品」として掲記されていたものは、当第2四半期連結会計期間は「商品及び製品」と一括して掲記しています。なお、当第2四半期連結会計期間に含まれる「商品」「製品」は、それぞれ788,528千円、67,530千円です。 また、前第2四半期連結会計期間において、「原材料」と流動資産の「その他」に含めていた「貯蔵品」(15,438千円)は、当第2四半期連結会計期間は「原材料及び貯蔵品」と一括して掲記しています。なお、当第2四半期連結会計期間に含まれる「原材料」「貯蔵品」は、それぞれ548,808千円、22,455千円です。	
2. 前第2四半期連結会計期間において、無形固定資産の「その他」に含めて表示していましたが「のれん」は、資産総額の100分の1を超えたため、当第2四半期連結会計期間では区分掲記することとしました。なお、前第2四半期連結会計期間の無形固定資産の「その他」に含まれる「のれん」は50,575千円です。	

【簡便な会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1. 固定資産の減価償却費の算定方法	減価償却費の算出は、年間償却予定額を期間按分して算定しています。
2. 税金費用の計算	当社及び一部の連結子会社は、法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予想を利用する方法によっています。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
税金費用の計算	一部の連結子会社においては、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。 なお、これら一部の連結子会社の法人税等調整額は法人税、住民税及び事業税に含まれています。



【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
給料手当 740,520千円	給料手当 773,087千円
販売促進費 692,993	販売促進費 823,436
荷造運送費 272,817	荷造運送費 272,051
広告宣伝費 348,668	広告宣伝費 463,092
減価償却費 94,264	減価償却費 123,739
ポイント引当金繰入額 206,656	ポイント引当金繰入額 184,652

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。	販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりです。
給料手当 373,315千円	給料手当 389,677千円
販売促進費 358,611	販売促進費 381,535
荷造運送費 142,369	荷造運送費 136,062
広告宣伝費 195,297	広告宣伝費 195,179
減価償却費 47,740	減価償却費 64,109
ポイント引当金繰入額 108,657	ポイント引当金繰入額 106,312

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成20年9月30日現在)	現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成21年9月30日現在)
現金及び預金勘定 2,446,040千円	現金及び預金勘定 3,405,488千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金 45,079	預入期間が3ヶ月を超える定期預金 82,994
現金及び現金同等物 2,400,960	現金及び現金同等物 3,322,494

(株主資本等関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)

1. 発行済株式の種類及び総数  
普通株式 3,935,000株
2. 自己株式の種類及び株式数  
普通株式 1,000株
3. 新株予約権等に関する事項  
該当事項はありません。
4. 配当に関する事項  
配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成21年5月25日 取締役会	普通株式	78,680	20	平成21年3月31日	平成21年6月8日	利益剰余金

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める化粧品事業の割合が、いずれも90%を超えるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しています。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、いずれも90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しています。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)並びに前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高が、いずれも連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しています。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動は認められませんでしたので記載を省略しています。

(デリバティブ取引関係)

当社グループはデリバティブ取引をまったく利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)		前連結会計年度末 (平成21年3月31日)	
1株当たり純資産額	1,240.01円	1株当たり純資産額	1,307.85円

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額等

前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額 10.56円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		1株当たり四半期純損失金額 47.25円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失( ) (千円)	41,555	185,916
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ( ) (千円)	41,555	185,916
期中平均株式数(株)	3,934,000	3,934,000

前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	
1株当たり四半期純利益金額 12.26円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。		1株当たり四半期純利益金額 15.86円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。	

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
四半期純利益(千円)	48,232	62,429
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	48,232	62,429
期中平均株式数(株)	3,934,000	3,934,000

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

(リース取引関係)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成21年4月1日  
至平成21年9月30日)

リース取引開始日が平成20年3月31日以前の所有権移転外ファイナンス・リース取引について通常の賃貸借取引に係る方法に準じて処理を行っており、リース取引残高が前連結会計年度末に比べて著しい変動が認められます。

(借主側)

1. リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額、減損損失累計額相当額及び残高相当額

	取得価額相当額 (千円)	減価償却累計額相当額 (千円)	減損損失累計額相当額 (千円)	残高相当額 (千円)
有形固定資産	60,180	31,712	-	28,467
合計	60,180	31,712	-	28,467

2. 未経過リース料残高相当額等

未経過リース料残高相当額

1年内	11,439千円
1年超	17,962千円
合計	29,401千円
リース資産減損勘定の残高	-千円

3. 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間に係る支払リース料、リース資産減損勘定の取崩額、減価償却費相当額、支払利息相当額及び減損損失

	会計期間 (千円)	累計期間 (千円)
支払リース料	4,870	9,959
リース資産減損勘定の取崩高	-	-
減価償却費相当額	4,493	9,180
支払利息相当額	384	812
減損損失	-	-

4. 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間の減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

5. 四半期連結会計期間及び四半期連結累計期間の利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額との差額を利息相当額とし、各期への配分方法については、利息法によっております。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成20年11月7日

株式会社ハーバー研究所  
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 進藤 直滋

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 坂本 裕子

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハーバー研究所の平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成20年7月1日から平成20年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手續その他の四半期レビュー手續により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手續により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハーバー研究所及び連結子会社の平成20年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年11月9日

株式会社ハーバー研究所  
取締役会 御中

監査法人 A & A パートナーズ

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 進藤 直滋

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 坂本 裕子

指定社員  
業務執行社員 公認会計士 齋藤 晃一

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ハーバー研究所の平成21年4月1日から平成22年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ハーバー研究所及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第2四半期連結会計期間及び第2四半期連結累計期間の経営成績並びに第2四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。